

## 鋼と非金属介在物

## 目 次

序	沢 村 宏
緒論	芥 川 武… 1

## 第 I 部

1 章 従来の学振法に対する再検討	(下川義雄)
2 章 新学振法の説明	(芥川 武, 堀川一男, 水野直彦)
2.1 まえがき	2.3 新学振法の説明
2.2 新学振法制定の経過	2.4 あとがき
3 章 新学振法標準図について	(住友元夫, 田坂鋼二, 鶴野達二)
3.1 新学振法・第1法標準図について	3.2 新学振法・第2法標準図について
4 章 新学振法による鋼中介在物判定結果とその検討	(堀川一男, 水野直彦)
4.1 緒言	4.4 測定値
4.2 試料	4.5 測定結果の検討
4.3 測定所	4.6 総括および結言
5 章 測定視野数が判定結果に及ぼす影響について	(加藤 健)
5.1 まえがき	5.3 第2法
5.2 第1法	5.4 第3法
6 章 新学振法と旧法との実地作業における比較	(森脇和男, 井田隆, 関口清一)
6.1 緒言	6.4 旧法と第3法の比較
6.2 旧法と第1法	6.5 総括
6.3 旧法と第2法の比較	
7 章 試料作成法	(前川静弥, 今井勇之進, 鈴木貞朔, 小柴定雄, 中村信夫)
7.1 熱処理および表面硬度の影響	7.2 琢磨剤の研究
	7.3 琢磨方法の研究
8 章 光電管を用いる介在物定量法	(高尾善一郎)
8.1 緒言	8.4 測定装置の構造および動作
8.2 測定法の原理	8.5 測定例
8.3 測定原板	

## 第 II 部

## 鋼中非金属介在物に関する文献抄録

(沢村 宏, 盛 利貞)

1. まえがき	5. 造塊中の成因 (B II)
2. 物理的測定法 (A I)	6. 鋼質に及ぼす影響 (C)
3. 化学的測定法 (A II)	7. その他 (D)
4. 溶解時の成因 (B I)	

## 付 録

鋼中非金属介在物の試験方法 学振製鋼第 19 委員会

## 大 判 付 図

非金属介在物標準図 (第 1 法) (第 2 法)